

共有住宅施設のプールの再開手順

最新の更新:

7/18/20: 従業員と訪問者の布製フェイスカバーと症状確認に関する追加情報が追加されました。(変更部分は黄色で強調表示)

8/21/20: 現在、屋外プールのみでの再開が許可されています。(変更部分は黄色で強調表示)

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。これは、アパート、コンドミニアム、および住宅組合の所有するプールを安全に再開および使用するためのカリフォルニアのロードマップにも準拠しています。

本ガイダンスの対象となるすべてのプール運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

現在、屋外プールのみでの再開が許可されています。

注: 本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないか確認してください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための措置
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための措置

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての住宅施設プールの運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

企業名:

施設住所:

投稿日:

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践 (施設に該当するものをすべて選択)

- 施設の現場で勤務する従業員がいない場合は、ここをマークして セクション B にスキップしてください。
- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65 歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべての従業員に、病気の際は出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示する。
 - 訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
 - 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすくなる、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金における従業員の権利、および[州知事令 N-62-20](#)に基づく COVID-19 の 労働関連の推定を含む、[COVID-19 における病気休暇および労災補償を支援する行政のプログラム](#)に関する追加情報を参照。
- 1 名もしくは 1 名以上の従業員が COVID-19 検査で陽性反応を示した、または COVID-19（症例）症状と一貫している報告を受けた場合、雇用主は、直ちに患者に自宅隔離を促し、職場で症例にさらされたすべての従業員に自己検疫を促す計画または手順を準備する。雇用主の計画では、COVID-19 管理対策の追加が必要となるような職場での感染があったかどうかを判断するために、すべての検査中の従業員に対して検査を実施する、または検査の手配をする。
- 従業員が職場に入る前に**職員に対する検査**が行われる。検査には咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気に関する症状確認が含まれ、さらに 14 日間以内に COVID-19 に感染している人物と接触したかどうかを確認する。これらの検査は従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能な場合は職場での検温も行う。
- 14 日間以内に職場内で 3 件以上の症例が確認された場合、雇用主はこの発生を公衆衛生局、(888) 397-3993 または(213) 240-7821 に報告する。クラスターが現場で特定された場合、公衆衛生局は、クラスターへの対応を開始し、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、およびサイト固有の対策を提供する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 勤務中に一般市民または他の従業員と接触するすべての従業員に、無料で鼻と口を覆うフェイスカバーを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療供給者からフェイスカバーを着用しないよう指示された従業員は、個人の状況が許す限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好まれる。一方向弁付きのマスクの着用は禁じられる。従業員がプライベートオフィスや、身長よりも高い仕切りのある個人作業エリア内に一人である場合は、フェイスカバーの着用は必要ない。
- 従業員にはフェイスカバーを毎日洗濯、または交換するよう指示する。
- 従業員は水に入る際にフェイスカバーを着用する必要はない。
- 水泳施設に同時に勤務する従業員の数制限するために、勤務シフトをずらしたり、変更したりする。
- 休憩室で、常に従業員の間で 6 フィートの距離を保てるよう休憩時間をずらす。
- 常時マスクを正しく着用するために、指定された休憩室以外の職場での従業員の飲食を禁ずる。
- 従業員が利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備する。

- 従業員が利用できる COVID-19 に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備する。
- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可される。
- 各従業員に本手順のコピーを配布する。
- このチェックリストに記載されているすべての方針は、雇用条件に関するものを除き、第三者として敷地内にいる可能性がある配達スタッフ およびその他の会社に適用される。
- オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための措置

- プール施設の使用を制限して、プール利用者が同居者以外の人から 6 フィートの物理的距離を確保、または最大占有率 50% を維持する。
 - 現在のプール利用者収容人数: _____ 収容人数の 50%: _____
 - すべての居住世帯にプール利用者収容人数制限について通知する。
 - プールの利用に予約制を実施することを検討する。例えば、これには、個人のラップスイミング用のフルレーンの予約、および個々の家庭用のハーフレーンの予約が含まれる。
 - ラップスイマーは、同居者以外の利用者から 6 フィートの物理的距離を保つ必要がある。水泳者が安全な距離を確保できるように、特定の時間にラップスイミングにレーンを使用できる水泳者の数を制限する。
- スパやジャグジーは閉鎖するか、一度使用できる定員数を 1 名または 1 世帯に制限する。
- プールにあるウォータースライド、乗り物、その他のウォーターアトラクションは引き続き閉鎖する。
- 遊泳者の監視を行っているライフガードは、手洗い、布製フェイスカバーの着用、または他者との社会的距離の確保は要求されない。
- 指定された個人または居住者のグループが、上記のプール利用者の最大収容人数を超過しないように監視および確認する責任を持つことが推奨される。指定された人物は、すべての暫定ガイドラインが遵守されていることも監視する。
- 社会的距離を確保するための措置（同居者でない利用者間の距離が少なくとも 6 フィート離れるようにする。）が実施されている。
 - 州法で義務付けられているように、プールの周囲に 4 フィートのデッキスペースを確保しつつ、プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席および座席エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
 - 水中および水に入っていないときに、ゲストや水泳者が少なくともお互いから 6 フィート離れることができるように、物理的な手がかりまたはガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
- アパート、コンドミニアム、住宅組合の居住者でないゲストがプール施設を使用することを禁止する。
- プールを含むすべての公共エリアでのパーティーや集会を禁止する。

C. 感染防止対策

- プールに訪れる訪問者は、施設内では常時（飲食時を除く）フェイスカバーを着用することを促される。これは大人と2歳以上の子供すべてに適応する。医療供給者によってフェイスカバーを着用しないよう指示された個人のみ、フェイスカバーの着用を免除される。
- 訪問者が施設に入る前に症状確認が行われる。これには、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または寒気がするかどうかの確認が含まれる。これらの症状確認は直接、又はオンラインでの症状確認などの代替方法を使用したり、これらの症状を持つ訪問者の入場を禁じるという施設入口の標識を掲げたりすることで実施される。
- プールの安全性チェックを実施して、プールの化学的成分が消毒に適切な状態であり、プールの安全装置が検査されていることを確認する。
 - 適切なオペレーションとメンテナンスは水中のウイルスを不活化する。
- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。これには、水飲み場、装飾用噴水、温水浴槽などが含まれるが、これらに限定されるものではない。
- 頻繁に触れる表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実施する。EPA承認の消毒剤を使用する。定期的な清掃および消毒のスケジュールは以下の通り：
 - 手すりとスライド _____
 - ラウンジチェア、テーブル _____
 - ドアノブおよびトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____

 - 共用施設 _____
 - トイレ _____
 - その他 _____
- 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、居住者が利用できる石鹸、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、およびゴミ箱が含まれる。
- 家具（例：ラウンジチェア）または他の共用アイテムが除去されていない場合は、別の人が利用するたびに清掃および消毒されていることを確認する。居住者は、家具や共用アイテムを使用した後、それらを消毒するための用品を持参してもよい。居住者は自分の家具や共用アイテムを持参することが推奨される。
- 各自、自分のタオルをプールに持参し、家族以外の人とタオルを共有しない。
- プールサイドで他者と飲食物を配布しない。また、感染の拡散のリスクを減らすために同一世帯以外の人と飲食物を共有しない。
- 水飲み場やウォータークーラーは停止し、使用不可とする。
 - _____

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示する。
- プール施設の各公共の入り口に標識を掲示し、プール利用者に、病気の場合、または COVID-19 と一致する症状がある場合は外出しないよう通告する。
- プール利用者に、同一世帯ではない人から 6 フィートの社会的距離を可能な限り維持するよう促す標識を掲示する。
 - スパやジャグジーを利用可能とする場合は、一度に使用できる定員数を 1 名または 1 世帯に制限する。
- すべての居住者とプール利用者が頻繁に手を洗い、プール施設に入る際に消毒剤の使用することを奨励する標識を掲示する。居住者にアルコール濃度 60% 以上の手指消毒剤を提供するか、持参するよう依頼する。
- 公共エリアからプールや共有トイレとの行き来をする際に、居住者にフェイスマスクの着用を促す標識を掲示する。水に入る際には、水泳者に布製フェイスマスクを取り除くよう促す。

E. 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための措置

- 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い居住者のためのサービスへのアクセスを確保するための対策を講じる。

社会的距離措置および施設や表面の消毒手順に関する米国疾病予防管理センターのガイダンスは、<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/water.html> をご覧ください。